

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
専門研究Ⅱ				芦田 信之	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	3年次	演習	有 (連絡済)	
授業の概要 (Course Description)					
<p>健康への関心の高まりの中、生活習慣病の治療として運動療法が取り入れられ、健康の維持増進のための運動教室が広く行われている。一方、余暇としての観光も見学型から、スポーツツーリズムや癒しをもとめる旅など体験型へと多様性が増している。これらの流れを結びつけ、地域の活性化策としてのヘルスツーリズムが各地で開催されるようになった。本授業では、地域にある観光資源を見つけ出し、医学的根拠に基づいた運動メニューを作成し、ヘルスツーリズムの商品開発を試みることにより、地域貢献をはかりつつ、観光商品開発のしくみを学習する。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>ニューツーリズムの中のヘルスツーリズムの概念を理解する。地域の観光資源を活用したツーリズム商品の開発の試みができるようになる</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	ヘルスツーリズム健康の里プロジェクトの推進 (前学期の継続)				
第 2 回	ヘルスツーリズム健康の里プロジェクトの推進				
第 3 回	ヘルスツーリズム健康の里プロジェクトの推進				
第 4 回	ヘルスツーリズム健康の里プロジェクトの推進				
第 5 回	ヘルスツーリズム健康の里プロジェクトの推進				
第 6 回	ヘルスツーリズム健康の里プロジェクトの推進				
第 7 回	ヘルスツーリズム健康の里プロジェクトの推進				
第 8 回	ヘルスツーリズム健康の里プロジェクトの推進				
第 9 回	ヘルスツーリズム健康の里プロジェクトの推進				
第 10 回	ヘルスツーリズム健康の里プロジェクトの推進				
第 11 回	ヘルスツーリズム健康の里プロジェクトの推進				
第 12 回	ヘルスツーリズム健康の里プロジェクトの推進				
第 13 回	まとめ (レポートおよび発表会準備)				
第 14 回	まとめ (レポートおよび発表会準備)				
第 15 回	まとめ (レポートおよび発表会準備)				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>ヘルスツーリズム健康の里プロジェクトの推進においてフィールドワークが主体となるので、必ずしも時間割に決められたとおりにならないことがある。時間外学習の枠として活動することがある。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
プロジェクトへの参加 (40%) ラボノート記録 (30%) レポート課題 (30%)	ヘルスツーリズム健康の里プロジェクトの推進活動への参加と記録を義務付ける。レポート課題は個別におこなう。
テキスト (Textbook)	【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	google classroomによる資料配布と課題提出
備考 (Other Information)	
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	講義終了時またはメールにて質問や相談日時を受け付ける。メールアドレス: ashida-nobuyuki@fukuchiyama.ac.jp